

令和 8 年(2026 年)

福岡ハング・パラグライディング連盟

定期総会議案書

日時 令和 8 年 2 月 1 日(日曜日)

場所 健康福祉センター ふれあい
福岡県糸島市志摩初 1 番地 092-327-2941

令和 8 年 福岡県ハング・パラグライディング連盟 総会次第

日時 令和 8 年 2 月 1 日(日曜日)

午前 10 時 00 分～16 時 00 分

場所 健康福祉センター ふれあい

1. 開会

2. 理事長挨拶

3. 議長選出

4. 議事

(1) 第一号議案 2025 年事業報告、決算報告について

(2) 第二号議案 2026 年事業計画、予算計画について

- ・県連でやってほしい事業の募集等
- ・ゲストを招いてのフライト会の開催
- ・九州フライヤーズミーティング 2026 開催について
- ・教員・助教員の育成の機会

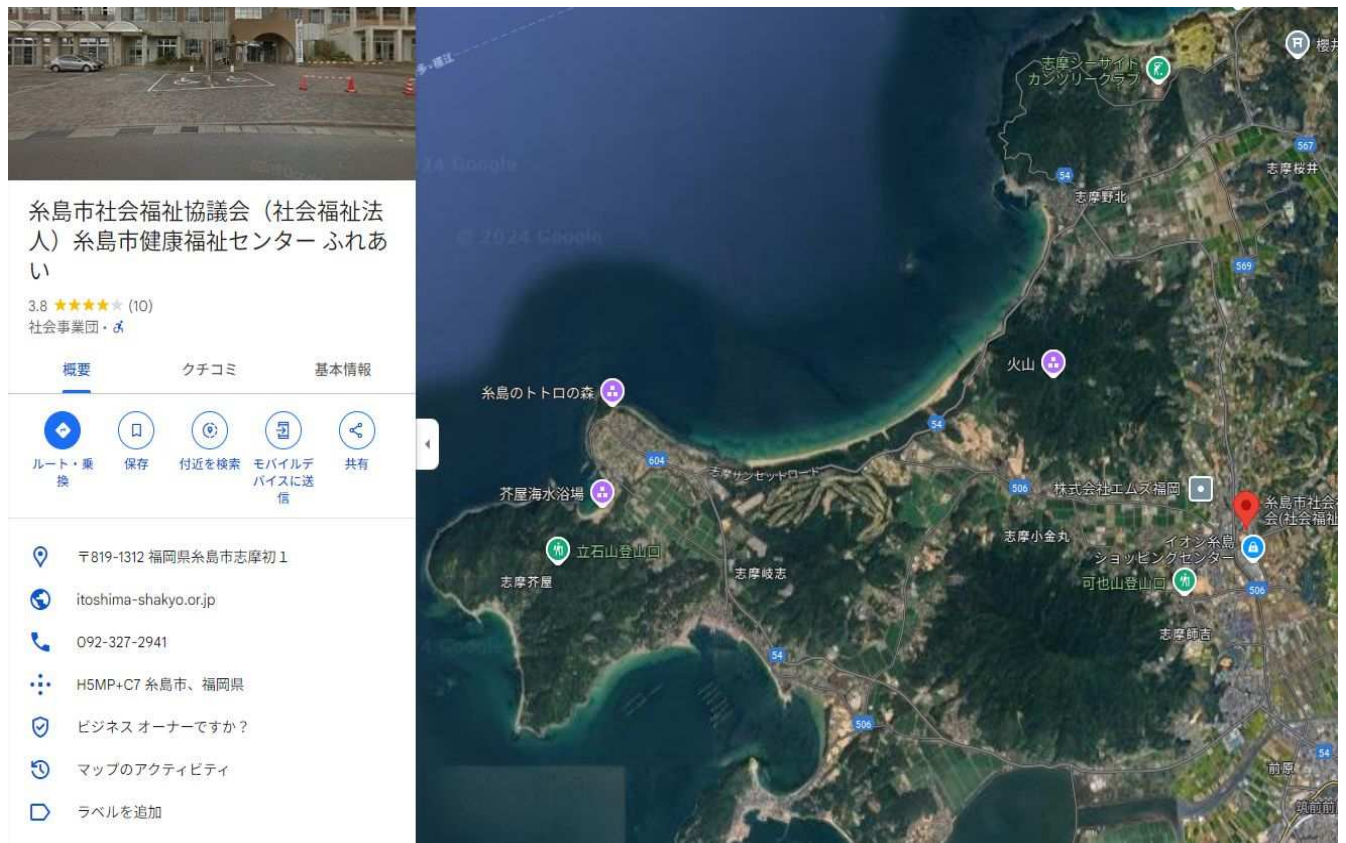
5. 議長解任

6. 連絡事項等

7. 閉会

午前 10 時 30～ リパック希望者にリパック

午後 13 時～ 救命救急講習会 13 時～



総会 会場位置図

(1) 第一号議案 2025 年事業報告、決算報告について

●2025 年活動報告

日時	活動内容	活動結果
2025/2/2	定期総会	午前 2024 年事業報告 決算報告 2025 年事業計画
2025/5/17 ～ 2025/5/18	2025 年フライトセミナー 平木啓子さん講師	フライト講習会 & 懇親会 強風によりフライト断念
2025/3/6	角町教員 教員更新の審議	代表者会のメール審議 福岡県として角町教員の更新を推薦
2025/6/5	JHF 役員選任の審議	代表者会のメール審議 <u>福岡県連は全員選任</u> 理事 1. 芦川雄一郎 東京都 2. 高瀬 吉康 山形県 3. 竹村 治雄 奈良県 4. 橋田 明夫 香川県 5. 濱田 革 北海道 6. 横田 開 石川県 外部理事 1. 廣川 靖晃 静岡県 外部監事 1. 岩村 浩秀 東京都
2025/6/5	JHF 通常総会 決議事項1 貸借対照表及び損益計算書の審議 決議事項2 JHF 定款一部改正 決議事項3 JHF 役員選任規定一部改正 決議事項4 JHF 役員の選任	代表者会のメール審議にて 決議事項1～4 賛成多数で承認

2025/6/17	JHF 通常総会 資料⑥	福岡県連からは web 参加
2025/8/6	徳永教員 教員更新の審議	代表者会のメール審議 福岡県として徳永教員の更新を推薦
2025/8/26	日本選手権 2025 福岡県連代表選出審議	2025/10/11～10/14 新谷参加 スポーツクラス 23 位
2025/9/13 9/14(予備)	2025 ひやまサマーカップ アクション 主催 福岡県連後援	大会不成立 豪雨 屋外パーティー実施
2025/10/19	グライダー山秋の収穫祭 in 久留米草野町 2025 スカイクルーズ主催 福岡県連 後援	大会不成立 参加選手:35 名 強風と雲梯が低くキャンセル 靴投げ大会
2025/11/1 ～11/3	雷山カップ 2025 JHF ジャパンリーグ2リーグ JHF 公認 福岡県連主催	大会不成立 フライトエリア 雷山 参加選手:58 人 連日強風でキャンセル
2025/11/8	第7回パラグライダー大会米の山金子杯 福岡市パラグライダー協会主催 福岡県連後援	大会不成立 参加選手:30 名程度 悪天候 キャンセル 紙飛行機大会成立
2025/12/18	安東教員 教員更新の審議	代表者会のメール審議 福岡県として安東教員の更新を推薦

教員 助教員 育成塾 実施報告

- ・ 以下の講習実技について参加者で持ち回りで、勉強会を実施中
- ・ 2026 年 1 月 28 日以降 2 週間に一回のペースで勉強会実施中
- ・ 2026 年 4 月に福岡県連主催 助教員検定試験 を実施予定

A 群

- 1 ウインドグラジェントとはどのような現象か？ 飛行に及ぼす影響は？
- 2 ポーラーカーブの説明と、フライト中の状況に応じた活用方法
- 3 パラグライダー公認大会の競技種目及びその内容について
- 4 エアールールについての説明
- 5 失速の定義と起こりうる状況、回復方法
- 6 上昇気流の発生とメカニズム、フライトにおける影響
- 7 局地風の種類とその説明
- 8 気温減率の説明とフライトに及ぼす影響
- 9 レスキューパラシュートの使用時の説明とメンテナンスについて
- 10 EN のグライダー認証について

B 群

- 1 初高高度フライトの講習生に対する事前説明
- 2 ピッチングを試みるが上手く動かせない講習生に対する説明と注意点
- 3 強い上昇気流から回避する方法と注意点
- 4 パラグライダー片翼潰し 30%の方法と注意点
- 5 スパイラルを指導する上での練習方法とその必要性について
- 6 ローリング練習の事前説明 (EN-A クラス使用)
- 7 テイクオフで飛び乗る講習生に対する矯正方法について
- 8 ランディングでケツランする講習生に対する矯正方法について
- 9 アクセルの使用の有用性と操作、そのメカニズムについて
- 10 自分の経験上、講習生の起こしがちな失敗例とその対処法について

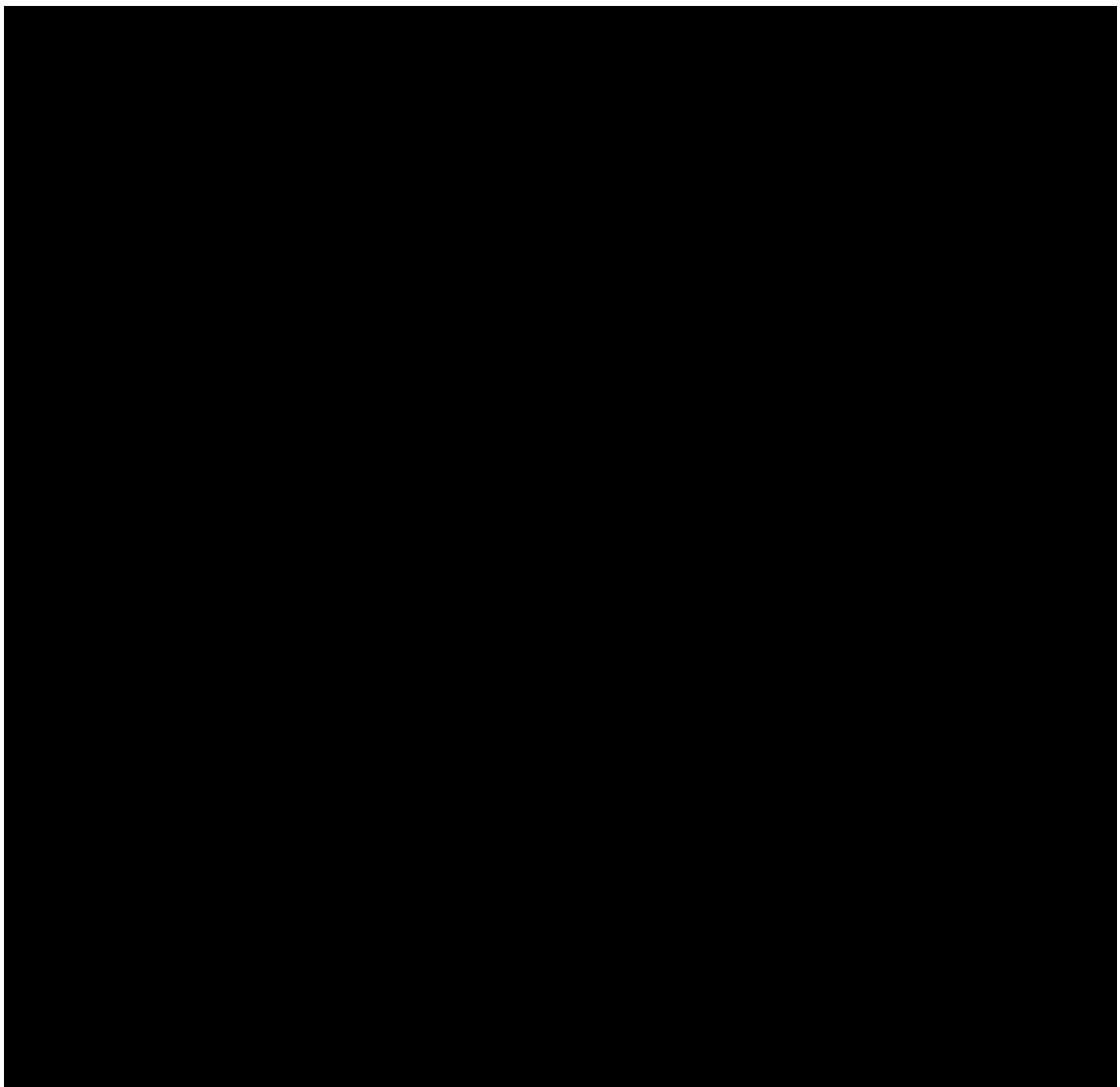
●第一号議案 2025 決算報告

理事長
会 計

新谷俊一
徳永浩之

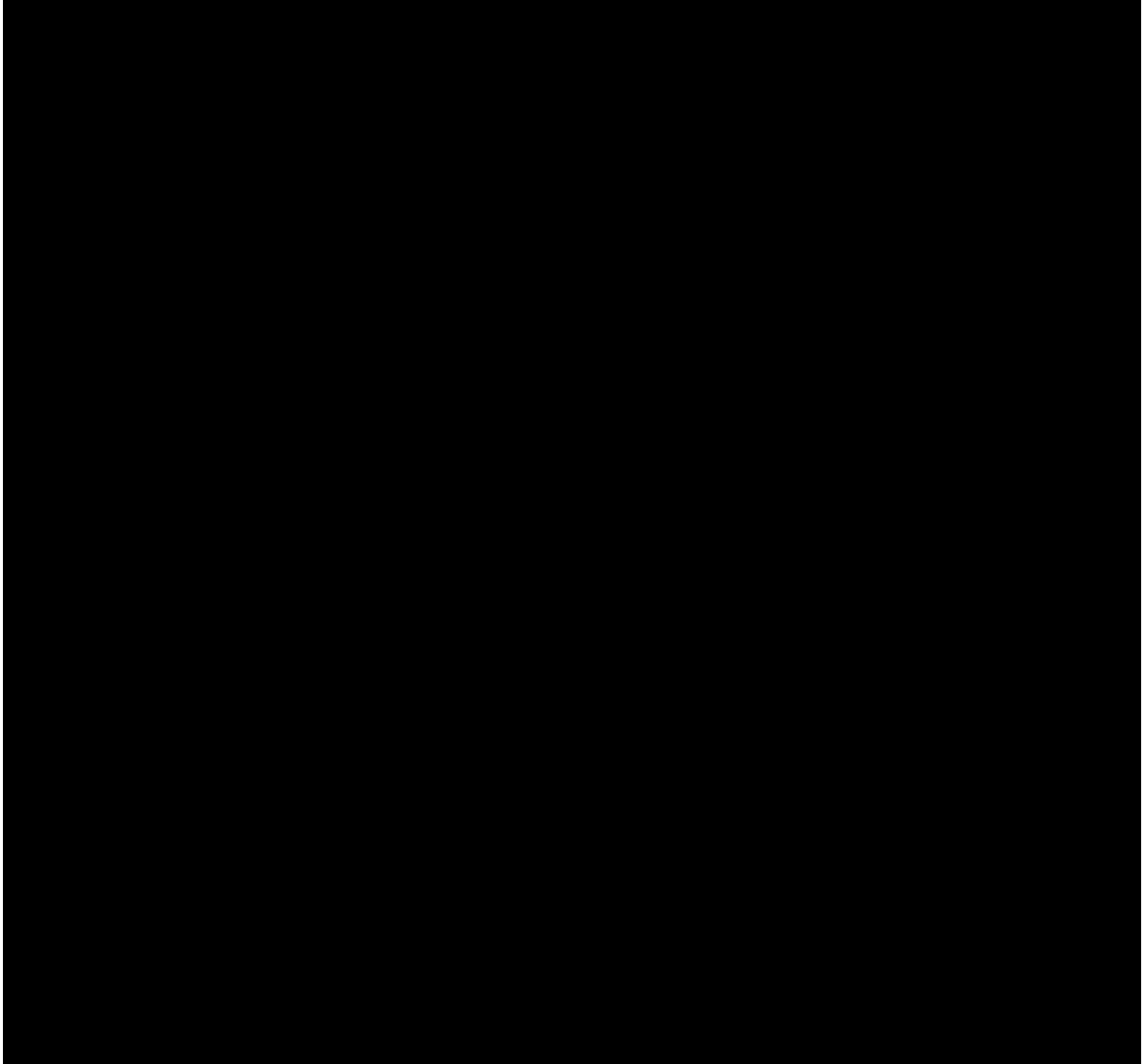
資料①

2025年度
福岡県ハング・パラグライディング連盟
収支決算報告書



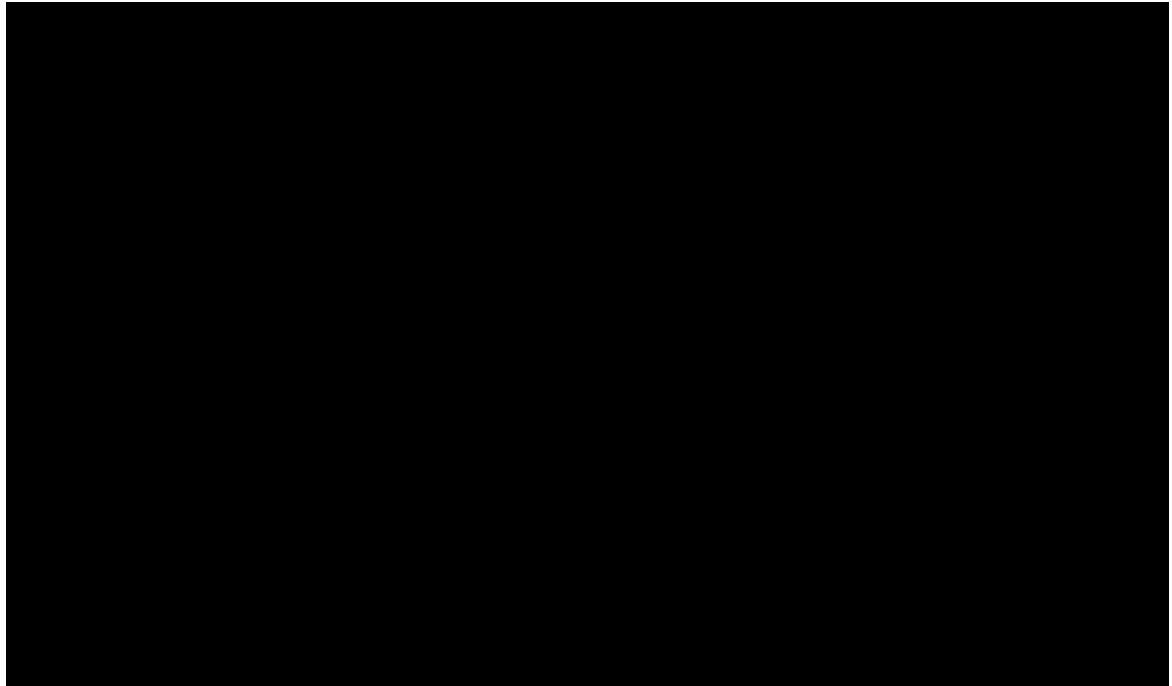
資料②

福岡ハング・パラ連盟 現金出納帳 2025年度



●第二号議案 2026 年事業計画、予算計画について

2026年(令和8年)
福岡県ハング・パラグライディング連盟
予算(案)



- ※ 雷山カップは今年度は九州フライヤーズミーティングにして、九州・中四国・全国から広く選手を募集。主催者も全員飛べる最高獲得高度・最高滞空時間・ターゲット・最高飛行距離等の競技にする。
- ※ 活動助成金は前年の雷山カップ J2 の残金もあることから、九州フライヤーズミーティングの賞品等に活用。
- ※ フライトセミナーはツリーランからの事故脱出セミナーを浅野いたるさんと相談中です。

・ ツリーランからの自己脱出 開催予定

自己確保をしてハーネスの傾きを修正し救助を待つ方法から、万が一救助が来ない場合の自己脱出を特殊伐採技術を活用した簡単、確実、安全な方法を講義と実践で徹底的に学びます。

簡易ハーネスで降りる方法やハーネスごと降りる方法などすべてを理解して用意すべき道具や方法がわかります。

今のところ 5月 or 9月～12月の日程が有望



・ 九州フライヤーズミーティング 大会開催予定

今年はフライヤーズミーティングを雷山 OR グライダー山で実施することを企画したいと考えています。

日時は 10月 10～11 日です。難しい GPS 操作は不要です。

雷山カップ 2025 大会報告

2025 年は夏が長引き、秋を飛ばして冬になるのではないかとと思われるような 11 月初めの 3 連休、2025 年 11 月 1 日(土)～3 日(月)に、福岡県糸島市雷山エリアにおいて、福岡県ハング・パラグライディング連盟主催、公益社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟(JHF)公認、JHF ジャパン 2 リーグ(J2 リーグ)対象大会である「雷山カップ 2025」が開催された。全国から 61 名のエントリーがあり、セレクションは実施されずに 3 名がキャンセルという事で、総勢 58 名のエントリーとなった。火山(ひやま)・雷山(らいざん)エリア、耳納(みのう)エリアを中心とした運営スタッフ 30 名超を加えると、総勢 100 名近くの参加者が集まる事となった。

1 日目は 8 時から白糸農園グラウンドで受付が開始され、8 時 30 分から開会式が執り行われた。福岡県ハング・パラグライディング連盟の理事長で大会実行委員長の新谷俊一の挨拶から始まり、お招きした村上修一競技委員長からのご挨拶をいただいた。続いて村上競技委員長からタスクコミッティとして氏田選手が推薦され、承認された。氏田選手から、もう 1 名のタスクコミッティとして地元の前川選手が推薦されて承認され、更にセーフティコミッティとして、地元の大淵選手と古館選手、経験豊富な能祖選手の 3 名が推薦・承認された。開会式が終了すると、選手はあらかじめ配車してあったそれぞれの車に乗り合わせ、テイクオフへ向かった。テイクオフに到着すると、予報通り北西 7～8m/s 程の爆風で、早々にタスクキャンセルとなり、新谷実行委員長からのエリアの説明が終わると下山して解散となった。



2 日目も西風強風の予報だったので、1 日目の夕方には公式に 2 日目のキャンセルが発表された。3 日目も北東の強風の予報であったが、2 日目の昼前に、地元フライヤーを含めた 4 名が、爆風となる直前の強風の中でフライトする事ができていたという事もあり、期待も込めてテイクオフに上がる事となった。テイクオフに到着すると、気温が低く、雨粒が落ちて来るようなコンディションで、予報通り北東 7～8m/s 程の強風。村上競技委員長からもう少し待ってみましょうかと提案があったが、寒かった事もあり、選手か



ら「(温かい)うどんが食べたいからキャンセルで。」というような冗談も飛んでいた状況の中で、新谷実行委員長から正式にタスクキャンセルが宣言された。その後、全員で記念撮影をして下山し、閉会式が執り行われた。

閉会式では、新谷実行委員長が自ら用意した、「自分が実際に使いたい実用的な」&「帰りの荷物にならない小さめの」商品が、抽選で12名の選手に配られる事となった。1番目のくじ引きで1番のくじが引かれて歓声が上がる等、タスクキャンセルになった心残りはあったものの、みんなで最後のイベントを楽しんだ。くじで当たった選手には、新谷実行委員長から商品が手渡された。おめでとうございます。今回、全てのタスクがキャンセルになったという事で残念ではあったが、



筆者の周りでは、唐津くんちや呼子のイカ、佐賀インターナショナルバルーンフェスタを堪能できたというような話が聞こえてきたので、参加した皆様に雷山でのフライトを楽しんでももらえなかった無念さを抱えていたが、幾分和らいだ。来年以降も雷山エリアでJ2リーグを開催したいという声があるので、次回の開催が楽しみである。今回参加された皆様におかれましては、遠路はるばる足をお運びいただきましてありがとうございました。また、スタッフの皆様におかれましては、何ヶ月も前からご準備いただきましてありがとうございました。今回、選手兼スタッフとして両面から大会に参加させていただき、大会の開催は運営スタッフあってのものだと改めて思いました。アクションパラグライダーズスクールの小林校長、スカイクルーズの徳永校長をはじめ、皆様のご活躍は表立って取り沙汰される事はありませんが、お陰様で大会を開催する事ができました。ありがとうございました。お疲れ様でした。

2025 年 日本選手権 出場報告

福岡県 新谷俊一

福岡県代表選手として、日本選手権 2025 に参加しましたので、競技の内容について報告させていただきます。

工程

10 月 10 日 福岡→別府湾→八幡浜→徳島県東みよし町 ぶるるパークみかも
 10 月 11 日 07 時 30 分 受付 荒天によりキャンセル
 10 月 12 日 08 時 00 分 荒天によりキャンセル
 10 月 13 日 08 時 00 分 競技 日本選手権 1 日目
 10 月 14 日 08 時 00 分 競技 日本選手権 2 日目
 10 月 15 日 徳島県東みよし町→瀬戸大橋経由→福岡 到着

日本選手権 1 日目

○気象状況

一日を通して西風予報だが、雲が多く朝からテイクオフレベルに雲が蓋をしている状態。昼から晴れてくるかもしれない予報。

昼過ぎに、あと少し待ってもダメならキャンセルと発表があったあたりから、一気に晴れてバンバンに。

水の丸テイクオフからテイクオフして、30 km 東の徳島市に流すコース。

○競技状況

13:00 ゲートオープン

ゲートオープンと同時に 78 人の選手がどんどんテイクオフしていく。水の丸のテイクオフはグライダーを二機ならべてテイクオフできるので、どんどん選手が上空に出ていきます。

13:45 分テイクオフ

テイクオフの北西側で集団があげているも、自分と近くにいる数機があげられずにランディング方向に北上、平野に出る前の山で何とかサーマルゲット 1250m まで高度回復した。

14:00 レーススタート なんとか高度を回復した時、ちょうどレーススタート。なかなか良いタイミングで東側に進めることが出



来る。東西の平野を渡らずに、平野の南側でサーマルをゲットしながらゴールに向かう作戦。

東進するもサーマルを見つけることが出来ず、最後の尾根地点 A (前頁ルート図) でサーマルを探すが見つけれない。吉野川の広い河川敷が目に入り、安全にランディングをと思い河川敷にランディング。周囲に多くのフライヤーがランディング。しかし、その後、地点 A の尾根で数機がサーマルゲットしてゴールに向かう機体を地面より確認。悔しくて涙が出ましたが、地面にいる自分にはもうどうにもならない。周囲に降りた失意の選手と傷のなめ合いをしながら帰路に就く。。。。



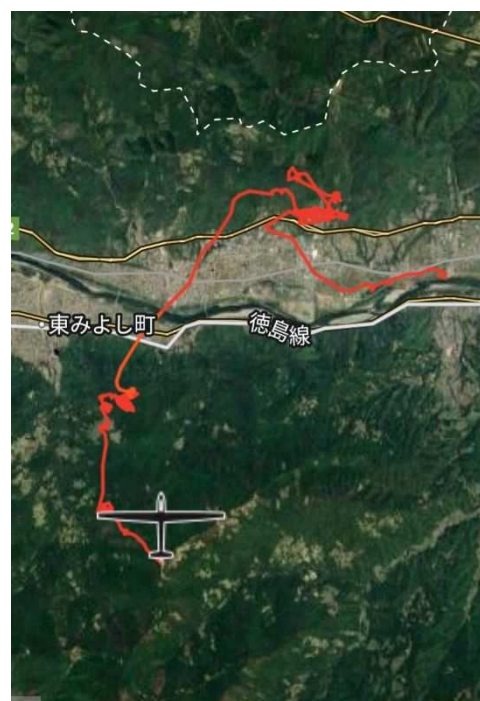
自分が乗れなかったサーマルポイントで上げていく
選手を見ながら涙した河川敷

日本選手権 2 日目

○気象状況

一日を通して南西風強め予報。

減率は良くサーマルは豊富。昼過ぎに谷地形に海風(東風)は入ってくる予想。その為、タスクはテイクオフから東に 15 キロほど行き西方向に海風を利用して戻ってくるルート。



○競技状況

11:45 ゲートオープン

ゲートオープンと同時に 78 人の選手がテイクオフしていくが初めは渋く、選手同士がテイクオフを遠慮している。私は 12 時過ぎにテイクオフ。

作戦的には、南西の風なので東西に広がる平野の北側に渡り、北側の山々でサーマルゲットして移動する。

13:15 タスクスタート

張り切って 12 時過ぎにテイクオフしたのは良いがタスクスタートまで 1 時間ある。とりあえず東西に広がる平野を渡り、北側の山の上で待機しているグループに合流しようと思い北側に谷渡りを開始。?? 谷のうえで物凄いシンクに合う。ギリギリ北側に渡るものの麓ギリギリ到着。周囲の機体と上げるが、どんどん高度を失う。何とかスタートを切って東に進む。平野の北側の山の上を移動したかったが、高度を獲得することが出来ず、平野付近のサーマルをゲットする方針に変更。海風と西風本流がぶつかるラインでサーマルを獲得できないか期待しつつも進むが、河川敷にランディング。。。



○全体を通しての反省・他

皆が上げているガーグルの中で集団で上げていくことが苦手。皆が上げるところで上げられずに一歩遅れている。どうしても機数が多いと、遠慮してこぼれてしまう傾向がある。誰かに追従した飛び方、一緒に多くの人と飛ぶ練習、サーマルトレーニングを継続したい。成績はスポーツクラス 27 人中 23 位でした。

○まとめ

今回の大会は台風 23 号の影響を受けて強風、湿気が付きまとい渋めのコンディションとなりましたが、コース取りや粘り強さなど、自分の技量に足りないところが鮮明となる大会でした。

今後も、技術の研鑽を継続して、いつの日かスポーツクラス入賞を目指して頑張っていきたいです。

以上

徳島県・吉野川フライトエリアについて

パラグライダーフライヤーにとって「日本屈指のスケールとクロカン(XC)のポテンシャル」を誇る聖地の一つです。

1. 地形の特徴：圧倒的な高度差と広大なランディング

このエリアの最大の特徴は、四国山脈の一角を成す標高 1,100m の水の丸テイクオフと、眼下に流れる吉野川です。

水の丸テイクオフ(メイン): 標高約 1,100m。ランディングとの高度差は約 1,000m もあり、ぶっ飛びでも 15～20 分はかかる「ビッグエリア」です。

多方向に対応: テイクオフは南以外のほぼ全方向に対応しており、気象条件の変化に強いのが強みです。

2. サーマルコンディション：クロカンの聖地

活発なサーマル: 日当たりが良い南向きの斜面が多く、春先から秋にかけては非常に強力なサーマルが発生します。過去の大会で潰れたグライダーが山に吸い込まれていくところを目撃しています。

クラウドベースの高さ: 良い日にはクラウドベースが 1,500m～2,000m 近くまで上がることがあり、対岸の山々へ渡る「谷渡り」の戦略がフライトの醍醐味です。

バレーウインドの活用: 吉野川沿いに吹く谷風(バレーウインド)を読み解くことが、長時間滞空や距離を伸ばす鍵となります。

3. 注意すべきポイント（フライヤー目線）

スケールが大きい分、特有のリスクやルールも存在します。

谷渡りの判断: 広い吉野川を渡って対岸へ向かう際、高度が足りないと河川敷への沈下や、予期せぬ吹き降ろしに遭遇する可能性があります。かなりあります。

テイクオフの斜度: 水の丸などは最初は緩やかですが、徐々に斜面がきつくなる地形です。しっかりと加速と確実なライズアップが求められます。切株山みたいな感じです。切株よりは簡単です。